

目で見る 明治大学の歩み

#87



明治大学における博士学位授与

本誌28ページにもあるように、明治大学が初めて博士学位を授与したのは1922年4月の松本重敏（当時法学部教授）であり、本年はその年から100周年にあたります。そこで、今回は明治大学が授与した博士学位について概観します。

明治大学は1920年の旧制明治大学発足と学位令改正により博士学位を授与できるようになりました（それ以前は文部大臣・文部省が唯一の授与権者）。上記・松本への授与以降は長く1年に数件の授与件数で推移しますが、1960年代から徐々に件数は増加し、1990年代以降は急増しています。

明治大学史資料センター 阿部 裕樹

1921年までに
博士学位を授与されていた
おもな明治大学関係者

氏名	年月	明治大学との関わり
箕作 麟祥	1888.5	名誉校員
井上 正一	1888.6	教員、教頭
木下 広次	1888.6	教員
熊野 敏三	1888.6	教員、教頭
岡村 輝彦	1888.6	教員
富谷 銈太郎	1899.3	教員、学長
志田 鉦太郎	1903.1	教員、総長
岸本 辰雄	1905.5	創立者、教員
小林 丑三郎	1907.6	教員
磯部 四郎	1907.6	教員
前田 孝階	1907.6	教員
横田 秀雄	1908.3	教員、学長（総長）
鵜沢 総明	1908.3	教員、総長
佐野 善作	1911.7	教員

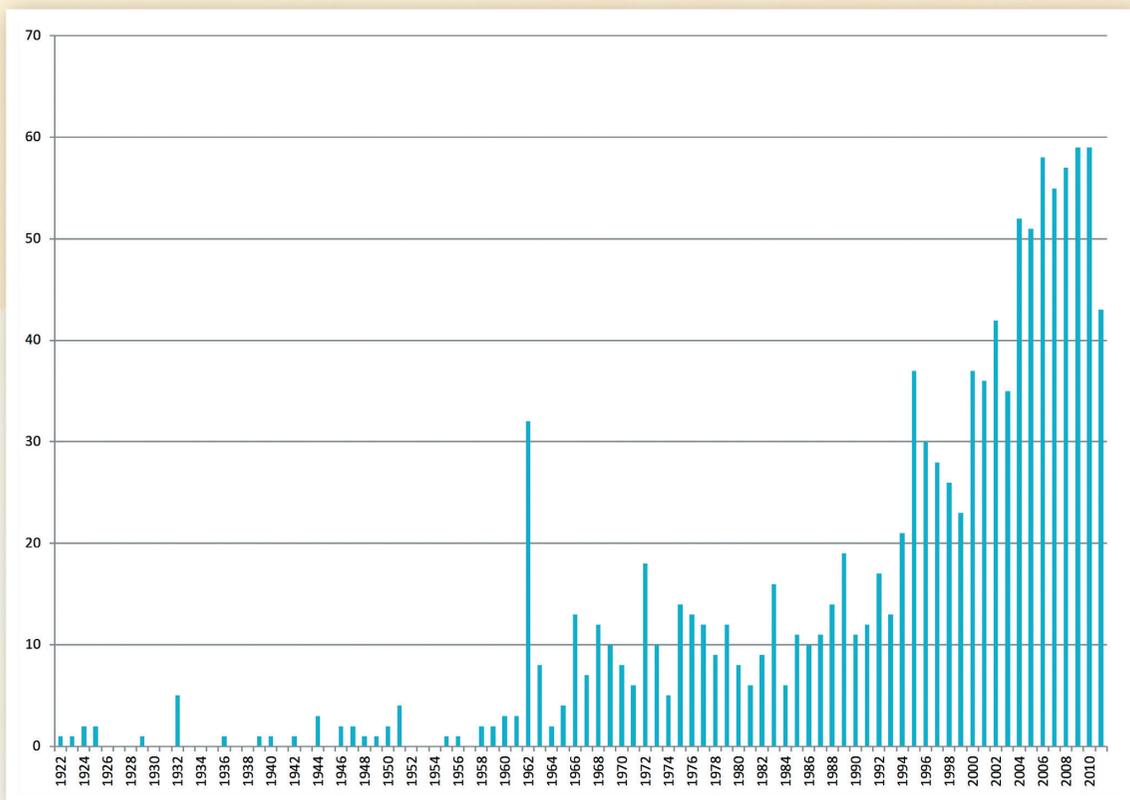
1932年

葉 清耀

台湾人初の法学博士となる葉清耀への学位授与を伝える「駿台新報」第320・321号記事。



明治大学が授与した博士学位件数の推移（縦：件数 横：年）

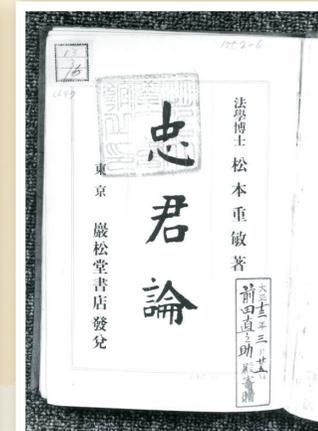


(参考資料) 阿部裕樹「明治大学における学位授与の歴史と博士学位授与件数」(『大学史紀要』第24号、2018年)

1922年

松本重敏と『忠君論』

明治大学が授与した最初の博士学位
(法学博士)。



田中 貢



1925年

田中 貢

明治大学が授与した最初の商学博士を伝える「駿台新報」第83号記事。